多彩に産業まつり

商工・農業 etc みなぎる活力

「えびなワクワク商品券」予約販売・PRも

昔の農機具実演（上）やチャリティーもちつきも（左上）＝前回の催しから

毎年、子どもから大人まで多くの方の参加をいただいている「産業まつり」の季節がやってきました。今年もたくさんの方に楽しんでいただけるよう、実行委員会で企画を練り上げました。農産物、商工製品の即売、チャリティー配布、楽しいアトラクションなど盛りだくさんです。また、11月22日（水）から販売を始める「えびなワクワク商品券」の予約販売とPRも実施しています。ぜひ足をお運びください。

▽日時　平成12年11月19日（日）午前10時から午後3時まで（雨天決行）
▽会場　市役所
▽テーマ　「みなぎる活力　海老名の産業」
▽内容

◎商工部門

▼特売市…食肉、鮮魚、青果、米、菓子、衣料、木製品など
▼販売促進…酒、年賀はがきなど
▼模擬店…コーヒー、焼き鳥、そば、フライドチキンなど
▼チャリティー…バザー、もつ煮、もちつき、花の種など
▼工作教室…木製升やコースターの製作など
▼工業製品展示会…最新パソコンの展示と体験、インターネット体験など
▼相談コーナー…住宅、水道、ガス、マイカー点検教室など

◎農業部門

▼農産物品評会…一般公開は午前10時から、即売は午後1時から
▼チャリティーコーナー…もちつき大会、豚汁、ポン菓子
▼さつき展示、花の即売、子牛・子豚の展示、昔の農機具展示・実演、農産物加工品試食・販売など
▼農協コーナー…海老名産の米販売など

◎その他の催し物

▼キャラクターショー「しましまとらのしまじろう」…1回目午前10時30分から、2回目午後0時45分から
▼みんなも踊ろう「よさこい踊り」…1回目午前11時10分から、2回目午後1時40分から
▼ものまね歌謡ショー…1回目正午から、2回目午後2時30分から
▼ファファ、資源回収コーナー、ミックスペーパーPR、ケナフの紙すき体験、電気自動車展示、シートベルト体験

▽問い合わせ　産業まつり実行委員会事務局
（商工課・内512）

☆当日は、駐車場が大変少なくなっていますので、車でのご来場はご遠慮ください。

11月19日市役所で同時開催

展示・手作り・相談コーナー…

いろいろな角度からみつめる

私たちの消費生活は、さらなる便利さ、快適さを求めて急激に変化しています。これに伴いさまざまな苦情やトラブル、また環境問題も増加しています。このような中では、確かな情報と正しい知識をもって自立した消費者となることが求められています。

今年もいろいろな角度から消費生活を見つめる「消費生活展」を開催しますので、ぜひご来場ください。

▽日時　11月19日（日）午前10時から午後3時まで
▽会場　市役所1階ロビー
▽内容
▼展示コーナー…市内の消費者団体などによる活動発表・パネル展示、計量クイズ、消費生活モニターによる環境家計簿記録、感想発表など
▼手作りコーナー…ペーパークラフト指導
▼相談コーナー…市薬剤師会による薬の相談
▼消費者被害未然防止キャンペーン

問　商工課（内511）。

思いつくままに

父親として2

父権喪失？

17歳に限られた訳ではありませんが、少年の凶悪事件が続発しています。そして、凶悪事件の低年齢化は、事件の残忍さとともに、深刻になっていることも事実だと、私自身、まゆをひそめている毎日です。

私は「もともと、人権は尊重されねばならない」と考えてはおりますが、「少年であるが故に、被害者の人権に比して、加害者の人権が守られすぎていないだろうか？」と憤りを感じながら、同時に、苦々しく思っておりました。

ご承知とは思いますが、現在の「少年法」の規定では17歳の少年が、死刑該当の罪を犯した場合は、「無期懲役」となり、「無期懲役」の場合は「有期懲役」となっていますし、それが15歳になっていなければ「保護処分」ということで終ってしまう。少なくとも14歳であれば、分別能力はあるはずですから、保護者とともに、被害者とその保護者に対して、心から謝罪すべきです。そして、マスコミでも、きちんと取り上げるべきです。しかも、刑法39条では「心神喪失は、これを罰せず」としていますから、社会的責任は問えなくなってしまうわけです。

今、「刑罰対象年齢を16歳以上から14歳以上に引き下げるという少年法改正が検討されています。改正すれば済むと思っている人はいないでしょう。問題は、事件の背景がどこにあるか？だと思います。書き尽くせませんが、一言、「父権喪失」にあり！と思っていますが…。

海老名市長　亀井　英一

海老名むかしばなし

半ばは錦纈のごとく、半ばはまゆずみのごとし
満目滄瓏として千里かさなる
（訳）大山を望む夕ばえの景は春のように思われる。野末遠く夕もやが立ちこめて夜のとばりがおりようとしている。見はるかす彼方大山の山麓は夕日が沈むのをためらうかのごとく、半ばは錦や蠟けつ染めのように美しい色彩を呈しながら、はや半ばはまゆずみのように山の端は黒く細く薄れてゆく。見る見る中に見渡す限りの広い野は青黒く変わって行ってその濃淡が幾重にも重なりつゝ全ての景象を暗黒の中に包みこんでいく。

土峰の晴雪
西嶺千秋積雪しげく
雲間に湧出しては銀盆に至らん
かぎりなきの景況いつに清絶なり
欄干に倚偏して暁昏を占む
（訳）これは冬晴れの早朝の富士の眺めである。西の峯のいただきには千年の雪が降りつもり、その純白の峯は雲の間を抜け出して丸いお月さまにまで届きそう。さえぎるものとてないその景色はまことに清絶の一語につきる。寺の欄干によりそうて暁の暗さの中にくっきりと浮かび上がっているその姿―。

清水の鐘声
清水（寺）の楼台、遠近晴れ
山を隔てて聴き得たり□華鯨（華鯨を鏗くを）
なに人をかよく解し深省を発する
送りつくす百年、これこの声
（訳）清水寺水堂観音の堂宇のあるあたりは遠く近くよく晴れて、この竜峰寺からは一山隔てているがその梵鐘の音に耳をかたむけることが出来る。この鐘の音で多くの人々が深い反省を以て信心の念をいだいたことであろう。まことにこの鐘の声はもう百年も鳴り続いているのである。（さぞ多くの人々を度脱させたことだろう。）

島間の春耕
現国分関免交差点北東付近での春耕。

鳴沢の瞑煙
大磯の鳴立沢をはるかにしのぶ。

菅社の秋月
かつて大谷の耕地中にあった天満宮の秋月。

湘浦の渡船
相模川の渡船。

祇林の緑樹
有鹿神社の森。

以上であるが、よくぞ郷土の勝景を選び、その顕彰詩を後世に残してくださった鉄牛禅師に、深甚な謝意を表すものである。

（池田　武治）

電話で海老名の昔話が聞けます

11／6まで　第254話　ぢぢい田
11／7～12／5　第255話　草鞋のはき方で正体を見破られた狐

☎233・3838